

3秒の会話でストレス数値化

ケアキューブ 「Care Cubeインサイト」

ストレス起因の
事故・ミス・突然の休職を予防！

声帯の微細な震えを分析し、従業員の不調の兆候を早期に捉えます。

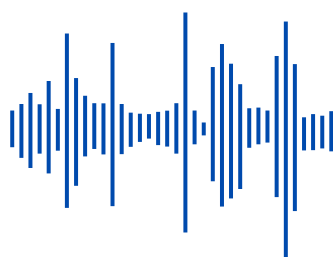


3つの特徴



3秒！声で測定

出退勤時に3秒間話しかけるだけでその日のストレスや喜怒哀楽の感情レベルを計測できます。同時に顔認証での打刻も完了します。



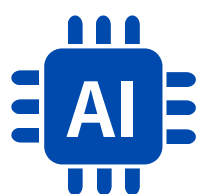
音声データ取得

意識的なコントロールが難しい声帯の不随意反応に着目し、声の周波数の変動パターンからメンタルの状態を客観的に数値化します。



心の状態を可視化

日々蓄積された記録はグラフで確認できます。長期的に計測を続けることで、高ストレスのダメージから回復していないなど自身の心の健康状態状況を知ることができます。



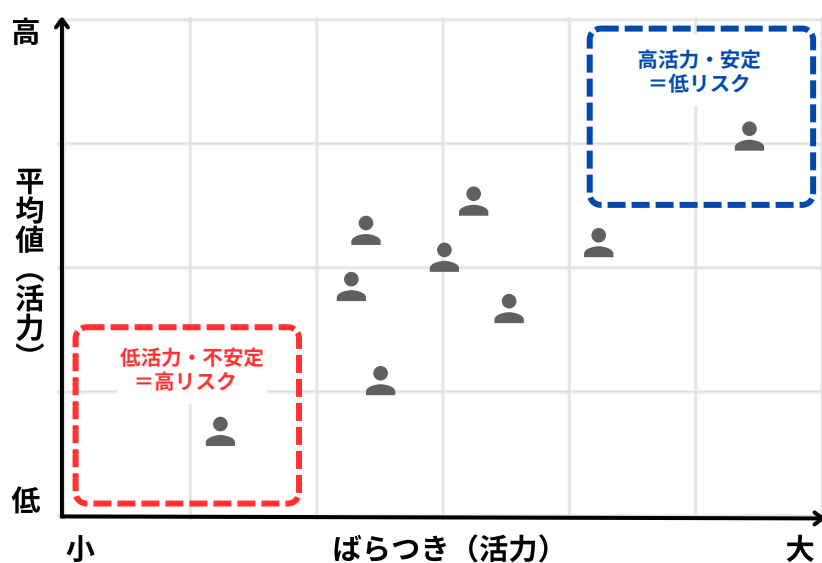
AIカウンセラーが個別フィードバック

心理カウンセラーの知見を学習したAIが過去の計測データを時系列分析し、一人ひとりに合わせたアドバイスをお届けします。

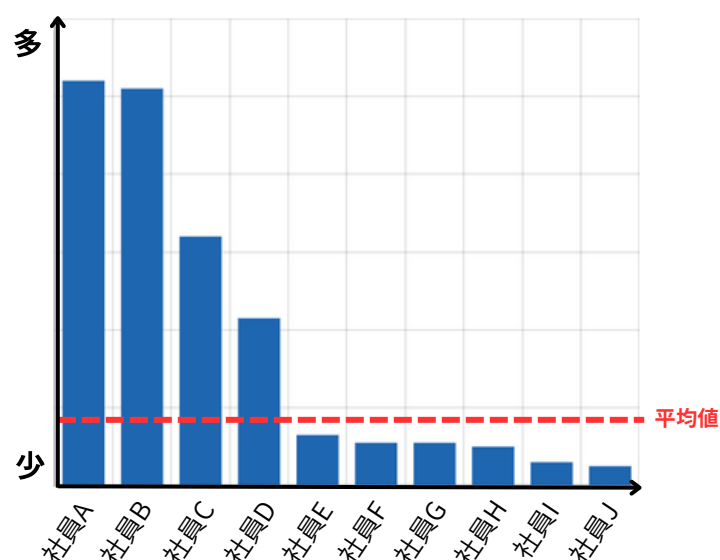
— Care Cubeインサイトを活用すると —

組織の負荷傾向を把握できる！

活力の平均×ばらつきによる相対的リスク評価



従業員ごとのストレス回数



安心して活用できる仕組み



心理カウンセラーの知見を学習

「メンタルサポート研究所」カウンセラーの臨床心理学に関する論文やレポートを含むデータセットをAIに組み込み、専門的な知見を蓄積しています。



大学との共同研究

立教大学との共同研究によりAIモデルを構築。技術開発だけでなく、実際の運用を見据えた運用設計の基盤を構築しています。



専門家による監修

心理カウンセラーが実際の出力内容を検証し、助言の自然さや心理的妥当性、安全性の観点からレビューを実施しています。

運用の流れ（例）

01 顔を見せる



〇〇さん、こんにちは。
調子はどうですか？

02 話しかける



おはよう！
元気です。

03 音声解析



絶好調ですね！

04 結果を確認



AIからの個別コメント
ストレスの上昇が計測されました。
適度な休息をお勧めします。

※Care Cubeは医療機器ではありません。安全性を確認し、医療機器とは異なる製品として開発しています。

